

資料2：地域ごとの景観特性に繋がる要素・資源・課題

(1) 駅前地区

- JR俱知安駅
- ・ロータリーや駐車場越しの駅前通への見通し
- ・南東の羊蹄山への眺望
- 駅前通
- ・商店街からの駅舎への見通し
- ・花壇やベンチ、のぼりなどによる賑わいの演出
- ・駐車場の確保のため壁面が後退した建物が増え、街並みとしての壁面線が凸凹
- その他の道路
- ・メルヘン通りは落ち着いた街路空間



(2) 市街地地区

- ・格子状に形成された街路
- ・戸建て住宅・店舗、2～3階建ての低層のアパート
- ・学校や公園などの公共施設の周辺などの拠点の緑化
- ・民地における未利用地に生い茂る草木
- ・I区画100坪程度の中とりある住宅地形成



(3) 旭ヶ丘丘陵地区

- ・市街地を見下ろす眺望と手前の豊かな公園緑地
- ・遠景となる丘陵地帯や農業地帯が立体的な広がり
- ・遠景に羊蹄山を望み、開けた広場のある旭ヶ丘公園
- ・西部樹林地の良好な植生や動物の生息が見られる豊かな自然



(出典：俱知安町HPより)

(4) 営農地区

- ・尻別川流域の平地に広範囲に広がる畑地と多様な作物
- ・羊蹄山の麓に見える河畔林等の森林と農地との織り成す景色
- ・北東の丘陵地帯における農業景観を見下ろす眺望
- ・電線及び電信柱における山並みの稜線の阻害



(5) 水辺地区

- ・河畔林の豊かなみどりと一体となる潤い
- ・アクティビティの場となる水上から川の流れや街並み、山並みの眺め
- ・リバーパークでは水辺と花壇やベンチなどが設置
- ・富士見橋、俱知安橋、サンモリッツ大橋からの水辺、遠方の山並みの眺望



(6) 森林地区

- ・国有林、道有林による森林保全
- ・他地区の景観の背景としての役割
- ・四季折々の彩りや表情の変化
- ・再生可能エネルギー施設等の立地や大規模な開発などの懸念



(7) 国道5号線沿い

- ・規模の大きい商業施設が立地するまちの骨格としての賑わい
- ・低層の建物による街並みの反面、羊蹄山への眺望を阻害する高い位置にある店舗の看板
- ・一部、街路樹が少なくなっている箇所
- ・沿道に設置されているのぼりや看板
- ・高砂・比羅夫・峠下などの郊外では、リゾートエリアに近いため、これまでとは異なる土地利用の動きが想定される



(8) 国道276号沿い

- ・市街地から畑地に続く連続的な景観
- ・畑地越しに羊蹄山を真横に見通す道路の形成
- ・西方向の正面のニセコ連峰への見通し
- ・農業地帯での電線及び電信柱における山並みの稜線の阻害



(9) 国道393号沿い

- ・丘陵地の森林景観と羊蹄山への眺望
- ・水辺の河畔林のある景観と畑地の農業景観、遠景の羊蹄山への見通し
- ・電線及び電信柱における山並みの稜線の阻害



(10) サンモリッツ大橋沿い

- ・リゾート地区の玄関口
- ・尻別川の河畔の豊かな森林
- ・遠景のニセコ連峰やスキー場のゲレンデへの見通し
- ・別荘地の立地や遠景に見えるホテルやコンドミニアムへの眺望



(11) その他の道路

- ・羊蹄山やニセコ連峰への眺望、田園を見渡す蘭越ニセコ俱知安線、京極俱知安線及びニセコ高原比羅夫線の道道3線
- ・新幹線俱知安駅や（仮称）俱知安ICを始めとした市街地とリゾート地までを結ぶ道路として重要な道道俱知安ニセコ線及び町道岩尾別南3線、花園リゾート線の町道2路線



道道俱知安ニセコ線

資料2：地域ごとの景観特性に繋がる要素・資源・課題

(12) 景観地区

1) 高層地区（センタービレッジ地区、花園ビレッジ地区、大沢川沿い地区（一部））

- ・センタービレッジ地区は準都市計画区域内の中で最も都市化
- ・高層のコンドミニアム、ホテル、店舗等の大型の建築物の立地
- ・ひらふ坂は無電柱化、沿道の公共サインや街路灯等はこげ茶色で統一
- ・宿泊施設等で眺望を遮る場所もあるが、至るところで広がる羊蹄山への眺望
- ・道道343号沿いは無電柱化、様々な色彩・形状の建築物や広告物
- ・大沢川沿い地区では道道343号沿いなどで大型宿泊施設の開発の動き
- ・花園ビレッジ地区は新たに大型の宿泊施設やレジデンス施設が建設



2) 低層地区（ペンションビレッジ地区、山田Ⅰ地区、山田Ⅱ地区（一部）、羊蹄の里地区、ノースヒルズ地区、樺山地区）

- ・ペンションビレッジ地区は建築密度が高いため、沿道からの羊蹄山への眺望は確保されにくく、敷地内で雪処理できない建物が多い。バラツキのある建築物の形状や色彩、建材。
- ・樺山地区は道道343号沿道からは農地と森林越しに羊蹄山やニセコ山系を眺望できるが、沿道に電柱電線が張り巡らされ、羊蹄山を望む際の妨げになる箇所も
- ・道道343号沿道は植物が繁茂し、歩行者や自転車の妨げになっている箇所あり
- ・道道343号沿いの山田Ⅰ地区と山田Ⅱ地区を跨いで大型の宿泊施設が建設、地区内の建物高さにばらつき
- ・山田Ⅰ地区は古くから宿泊施設や別荘と、新たな開発により新旧の建築物が混在
- ・ノースヒルズ地区や羊蹄の里地区などは、各住宅の敷地が広く樹木等と建築物が調和



3) 森林自然地区（山田Ⅱ地区（一部）、双子山地区、東岩尾別地区、西岩尾別・旭・花園地区、大沢川沿い地区（一部））

- ・森林と農地が多く広がる
- ・農地や森林の中に古くから建設された住宅や低層の別荘、近年新たに建設された別荘や住宅が点在
- ・一般公開は無いが花園牧場では美しい酪農景観が広がる
- ・道道58号沿道には大型の工場などの民間施設や清掃工場などの公共施設が立地
- ・町道東岩尾別南3線からは、森林を抜けると農地越しの羊蹄山への眺望が広がる
- ・大規模なホテル開発等の動きがみられる



(13) その他の景観に影響を与える要素

1) 屋外広告物

- ・市街地及びヒラフ地区を中心に屋外広告物が目立つ
- ・特に、冬季はニセコひらふ地区で簡易広告物が増加する傾向



2) 鉄塔

- ・樺山地区や東岩尾別地区、西岩尾別・旭・花園地区に鉄塔が建設
- ・自然景観への眺望の妨げに
- ・5G化による携帯鉄塔の建柱の動き



3) 道路付帯物

- ・国道や道道を中心に、道路標識や矢羽根、防護柵等が設置
- ・自然景観への眺望の妨げになる場合も



4) 電柱・電線

- ・ひらふ坂や5号線の一部で無電柱化を実施
- ・農村部等を中心に、電柱電線が羊蹄山等への眺望の妨げに



5) 再生可能エネルギー施設

- ・森林地域などを中心に、今後太陽光パネルの設置などによる沿道からの景観保全が課題